

# 水戸二中通信

## 「体験」から「経験」へ

ある本を読んでいたら、子どもがテストでよい点数をとったときに親や教師が、「才能があるね。君はすごい。」とその子の「能力」を褒める場合と、「よくがんばったね。勉強した成果がでたね。」とその子の「努力」を誉める場合では、その後の子どもの姿に変化がみられたことが紹介されていました。能力を評価した場合、やがて子どもは満足できないテストを見せなくなり、学力が下がる傾向がみられたそうです。努力を評価した場合、子どもは失敗しても、あきらめずに努力を重ね、学力が向上する傾向がみられたそうです。

また、「テストの成績に対してご褒美」をあげた場合と、「本を1冊読んだらご褒美」をあげた場合では、テストの「結果にご褒美」よりも、勉強につながる「努力にご褒美」をあげた場合のほうが結果として学力が向上する傾向がみられたそうです。「ご褒美」をあげるかどうかの是非はさておき、「ご褒美」を「言葉かけ」に変えてみると、二つの例は同じ内容に思えます。

学習や行事・部活動など、子どもたちは様々な体験をします。体験したことを振り返り、その体験への取り組み方はどうであったか、どのような努力をしたかを自己評価したり、身の回りの人から言葉かけなどの評価をもらったりすることで、体験（事実）が

経験（解釈）へと変化していきます。運動会での姿、合唱コンクールに向けた取り組み、部活動に向かう毎日、進路の選択と進路実現のための努力・・・子どもたちの日々の貴重な体験が経験に変わるように、授業や行事、部活動で振り返りの場や、取り組み方への評価を工夫していきたいと考えます。

11月は教育月間です。「歩く会」や「PTAレクリエーション」「創立記念集会」「関東地区中学校社会科学研究会公開授業」「三者面談」などたくさん行事が予定されています。それぞれの行事や日々の授業や部活動の体験が経験に変わるよう、お子様の取り組みや努力に言葉かけをお願いします。



## 11月の主な行事

- |    |     |                      |
|----|-----|----------------------|
| 2  | (月) | いばらき教育の日             |
| 3  | (火) | 一日訪問                 |
| 4  | (水) | 長崎の体ため               |
| 5  | (木) | 学力大会(3年)             |
| 6  | (金) | 歩夢会(2年)              |
| 8  | (日) | 中常任委員会               |
| 9  | (月) | 茨城大会                 |
| 10 | (火) | 立高入試                 |
| 11 | (水) | 県立大会                 |
| 12 | (木) | 県立大会                 |
| 13 | (金) | 県立大会                 |
| 14 | (土) | PTAレクリエーション(午前)      |
| 16 | (月) | 理科者4人検定(5時短縮45分)     |
| 18 | (水) | 新創立50周年記念集会(11月8日除く) |
| 20 | (金) | 創立50周年記念集会           |
| 22 | (日) | 創立50周年記念集会           |
| 23 | (月) | 創立50周年記念集会           |
| 24 | (火) | 創立50周年記念集会           |
| 25 | (水) | 創立50周年記念集会           |
| 26 | (木) | 創立50周年記念集会           |

### 水戸教学

<11月の先人のことば>

「馬に一馳一息ありて、  
而して恒に健し」

(借楽園記より)

馬と同じように人間も一生懸命に、  
勉強したい運動が必要である。

